

39

千代田区景観まちづくり重要物件

旧第一生命館（DN タワー21）

指定日 2003（平成 15）年 8 月 8 日

所在地 有楽町一丁目 13 番 1 号

設計者 渡辺仁、松本与作（増築：清水建設）

竣工 1938（昭和 13）年

文化財等
指定状況 東京都選定歴史的建造物



▲正面から見た旧第一生命館（DN タワー21）

歴史・文化的特徴

旧第一生命館は、終戦直後の1945（昭和20）年9月にGHQ（連合国軍総司令部）により接収され、1952（昭和27）年7月に返還された建物であり、現在でもマッカーサー総司令官室が保存されています。戦前最後の現存する大規模建築として、東京都選定歴史的建造物に選定されています。

1995（平成7）年、旧建物を保存改修するとともに、その低層部の余剰容積を使って超高層タワー部が増築されました。超高層化に伴い、丸の内の歴史的建築物の保存手法を新しい時代に導きました。

意匠・構造の特徴

外装は花崗岩を主とし、装飾を排したシンプルなモチーフの力強いデザインでまとめられています。保険書類を守るためか、非常に堅牢な造りになっています。

増築した超高層部も保存部分の意匠の重厚なモチーフを使っており、ガラス面が大きい周囲のビルとは異なる個性を見せています。改修・増築設計にはアメリカ人建築家のケヴィン・ローチが参加しました。



▲花崗岩を主として用いたシンプルなデザイン

周辺景観との関係

周辺は帝国劇場、少し先に明治生命館（重要文化財）など、大建築が並んでいる場所で、日比谷交差点付近から日比谷通りを見た時、31mで低層部が揃う景観は、美観地区指定の意味を語るものとなっています。



▲DNタワー21（右側） 手前は日比谷濠